



酪農学園大学獣医学部獣医学科名誉教授 小岩政照

2018年3月1日 第50回宇都宮賞・酪農指導の部を受賞

公財)宇都宮仙太郎翁顕彰会による「第50回宇都宮賞」の表彰式が3月1日、札幌パークホテルにて行われ、酪農学園の小岩政照教授(獣医学類・生産動物内科学IIユニット)が「酪農指導の部」において受賞。

受賞の理由には、家畜臨床獣医師としての技術のみならず、現場で培った豊富な経験や知識を基に、常に酪農家のためにという基本姿勢で教育研究に取り組んできたことによるもの。

「北海道の酪農に関わる私たちにとりまして、夢のような名誉ある賞をいただき、素直に喜びたいと思います。皆さまに厚くお礼申し上げます。私は酪農学園大学を卒業後、43年間臨床獣医師一筋でやってきました。私は常日頃、『乳牛の改良なくして酪農の発展はない』と断言できると考えています。これまでたくさんのお牛と出会い、診療する機会がありました。その思い出は私にとって大事な宝です。酪農家は酪農経営に対する夢・希望・哲学を持っています。酪農家のそばにいつも寄り添い、夢を叶えてあげることが私たちの仕事だと思っています。学生たちにもそのように教えてきました。これからは大変微力ながら北海道の酪農の発展のため、臨床現場の経験と知恵を生かして、この名誉に恥じない診療を続けていきたいと思っています。今後とも、さらに一層のご指導、ご鞭撻よろしく願いいたします」と小岩氏談。

【主な略歴】1975年 酪農学園大学 獣医学科 内科学教室 助手
1980年 千歳市農業共済組合 診療係長
1993年 石狩地区農業共済組合 江別診療所長
1995年 // 北部統括所長
2004年 酪農学園大学 獣医学部 教授(副病院長)
2011年 酪農学園大学 // 附属農場 次長
2013年 酪農学園大学 // 農場長
2014年 酪農学園大学 // フィールド教育研究センター 副センター長
2018年3月現在 酪農学園大学 獣医学群獣医学類 生産動物医療学分野内科学IIユニット 教授
2018年3月現在 コーラルインターナショナル(株) 特別アドバイザーに就任

【功績の紹介】

1975(昭和50)年に酪農学園大学獣医学科を卒業、同大学内学教室の助手として従事した後、1980(昭和55)年に千歳市農業共済組合で家畜臨床獣医師としてのキャリアをスタート、学園創立者である黒澤西蔵翁の「三愛精神」、「健土健民」の教えの下に常に酪農家のためにという基本姿勢で一貫して教育研究に取り組んできました。

この間、子牛の下痢症、肺炎、免疫機能の臨床評価、内視鏡による中耳炎の診断・治療、内科疾病に対するアミノ酸療法、カビ毒(マイコトキシン)の予防、肝臓病及び乳熱の予防・治療など、酪農経営に甚大な損失をもたらす疾病の診断・治療及び予防法の研究、技術開発に大きな功績を上げるとともに、臨床現場において自ら実践しており、これら一連の研究成果により農林水産大臣賞や産業動物獣医学会会長賞等を多数受賞しています。

卓越した診療技術のみならず、酪農への熱い思いや酪農家に寄り添う姿勢などによって、全道の酪農家から絶大な信頼を得ており、分かりやすく丁寧な指導を受けた数多くの酪農家が、飼養管理や疾病予防技術の改善・向上等に成果をあげています。